

■証券コード8012

第93期株主通信

平成19年4月1日～平成20年3月31日

Nagase Report

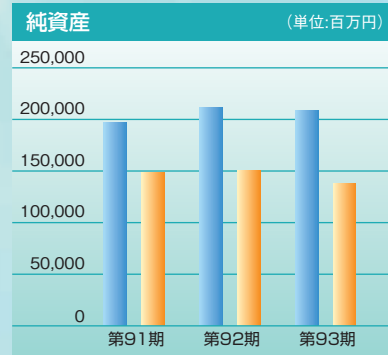
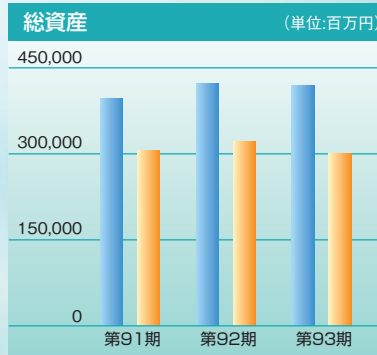
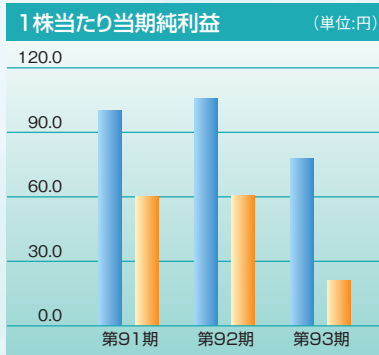
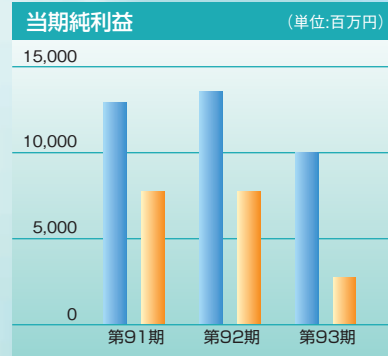
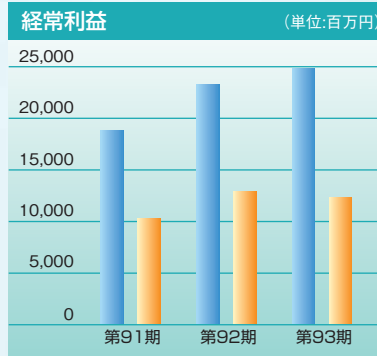
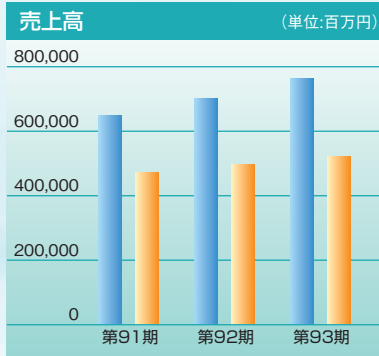
NAGASE

長瀬産業株式会社

業績ハイライト

Financial Highlights

連結 ■ 単体 ■



1

	(単位)	第91期 (2006年3月期)		第92期 (2007年3月期)		第93期 (2008年3月期)	
		連結	単体	連結	単体	連結	単体
売上高	(百万円)	648,023	473,351	701,321	497,116	764,755	522,260
経常利益	(百万円)	18,798	10,329	23,231	12,872	24,823	12,294
当期純利益	(百万円)	12,892	7,747	13,567	7,770	10,005	2,728
1株当たり当期純利益	(円)	100.33	60.10	105.85	60.61	77.86	21.22
総資産	(百万円)	396,773	305,347	422,859	321,537	419,869	301,354
純資産	(百万円)	196,620	148,920	211,672	150,142	208,377	138,149



左：長瀬英男会長 右：長瀬洋社長

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より格別のご高配を承り厚く御礼申し上げます。

第93期株主通信をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当期におけるわが国経済は、設備投資や個人消費の伸び悩みなどにより、緩やかな景気拡大から減速に転じております。世界経済全体につきましても、サブプライムローン問題や原油価格の影響により減速懸念が強まっております。

こうしたなか、当社グループは各事業の一層の業績拡大に努めました結果、国内販売は4,328億1千万円と前期比5.4%増、海外販売が3,319億4千万円と前期比

14.3%増、売上高は7,647億5千万円と前期比9.0%増となりました。

利益面につきましては、売上高の増加により売上総利益は805億円と前期比9.3%増となり、退職給付会計における数理計算上の差異の償却などにより一般管理費が増加したものの、営業利益は230億6千万円と前期比6.4%増、経常利益は248億2千万円と前期比6.9%増となりました。しかしながら、当社が販売したポータブルDVDプレーヤー等の自主回収に伴う費用64億8千万円を特別損失に計上したことなどにより、当期純利益は100億円と前期比26.3%減となりました。

なお、当社は2006年4月より3ヵ年にわたる中期経営計画「WIT2008」（W：Wisdom 知恵、I：Intelligence 情報、T：Technology 技術）をスタートさせております。当初の数値目標としては「WIT2008」の最終年度である2008年度（2009年3月期）に連結売上高7,700億円、連結営業利益240億円の達成を目指しておりましたが、連結営業利益につきましては人件費ならびに新規設備投資による減価償却費の増加、また為替の円高に伴う影響などにより、210億円にとどまる見通しです。

株主の皆様のごさらなるご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年6月

代表取締役会長 長瀬英男

代表取締役社長 長瀬 洋

CONTENTS

- 業績ハイライト…………… 1
- 株主の皆様へ…………… 2
- 社長インタビュー…………… 3
- トピックス…………… 5
- 連結財務諸表…………… 7
- 財務諸表…………… 9
- 会社概要…………… 10

主力事業が好調に業績を伸ばすなか、中期経営計画「WIT2008」のもと、持続的成長に向けた体質強化を推し進めてまいります。

Q 当期における事業別状況をご説明ください。

A 合成樹脂事業は前期比2桁の伸びとなり、化成事業、電子事業も好調に推移しました。

化成事業につきましては、樹脂原料・添加剤関連の販売が好調に推移し、自動車業界を中心にウレタン原料や塗料原料などの販売も増加しました。有機合成原料を扱う事業も総じて好調な動きとなっています。また、グループ企業の製造機能を担うナガセケムテックス(株)製品の販売が液晶関連用途を中心に大きく増加しました。さらに中国・華南地域を中心とした海外販売の拡大も貢献し、その結果、当事業の売上高は、前期比8.4%増の2,678億3千万円となりました。

合成樹脂事業につきましては、自動車関連用途のビジネスで中国・華南地域、およびアセアン地区などでの販売が引き続き好調に推移しました。また、北米・欧州地域での売上も増加し、日本国内での販売も回復したため全体としては売上が大きく増加しました。その結果、当事業の売上高は、前期比12.3%増の2,746億6千万円となりました。

電子事業につきましては、液晶ディスプレイに関連する液晶用部材加工や電子機器用のアルミ外装材加工などの派生ビジネスが大幅に増加したほか、光学フィルムの売上も増加しました。また、半導体等の精密研磨関連部材なども好調に推移しました。その結果、当事業の売上高は、前期比8.6%増の1,638億3千万円となりました。

ライフサイエンス事業につきましては、化粧品・健康

食品の販売を行うビューティケア事業の売上が微減となりましたが、ファインケミカル事業は、医薬品原料・中間体関連の国内販売が好調であったことに加え、欧州地域を中心に海外販売も伸長したため、全体としては売上が増加しました。その結果、当事業の売上高は、前期比5.5%増の564億8千万円となりました。

その他事業につきましては、前年下期にDVD映画ソフト販売など一般消費者対象のビジネスを事業譲渡したことに加え、ポータブルDVDプレーヤー等の自主回収の影響もあり、大幅に減少しました。その結果、当事業の売上高は、前期比62.7%減の19億3千万円となりました。

Q 次期の見通しについてお聞かせください。

A 2009年3月期の売上高は7,700億円、営業利益210億円を見込んでおります。

次期の見通しにつきましては、2009年3月期の売上高7,700億円（当期比0.7%増）、営業利益210億円（当期比8.9%減）、経常利益220億円（当期比11.4%減）、当期純利益130億円（当期比29.9%増）、年間配当につきましては、1株当たり20円（中間配当10円、期末配当10円）を予定しております。ただし、米国や中国の景気動向や原油価格の変動が素材産業に与える影響、また液晶など電子機器関連をはじめとする市場での需給バランスなど、予測できない環境の変化で大きく異なる可能性があります。その点は、あらかじめご理解いただければと思います。

Q 中期経営計画「WIT2008」の当期における実践についてご説明ください。

A ベトナム現地法人の設立準備、リサイクル工場の建設など市場拡大と事業拡充にむけた積極的な展開を行っております。

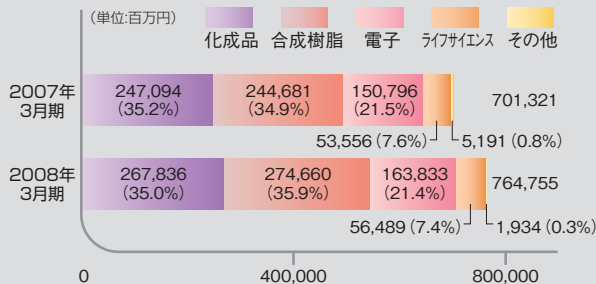
「事業基盤の拡大」の面では、ベトナムにおいて販売会社設立に必要なライセンスを取得し、現地法人の設立を準備しております。同国では樹脂着色を行う合弁会社においてもコンパウンド工場の建設を進めております。また、中国における繊維関連事業を統括する合弁会社を日本国内に設立しました。「重点分野への積極投資」については、大阪府堺市に大型液晶パネル製造用の薬液製造・リサイクル工場の建設を決定し、さらに現像液のリサイクルを目的とした合弁会社を設立、エレクトロニクス分野の事業拡大を進めています。ライフサイエンス分野についても、遺伝子技術に優れたベンチャー企業を買収し、創薬支援ビジネスを構築してまいります。「高収益への体質改善」に関しては、ナノテクノロジー関連で有望な米国のベンチャー企業への



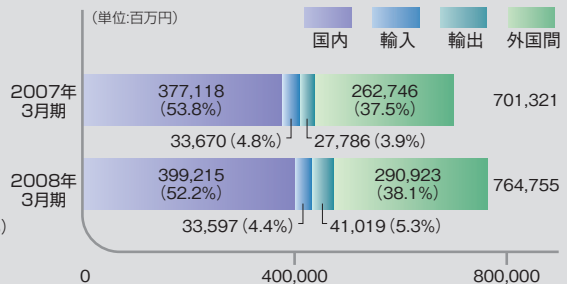
投資を行いました。また、ナノスケールの無機複合材の製造装置を新設するなど、ナノテク事業の強化・拡充を図っております。

今後も「知恵をビジネスにする技術・情報企業」をスローガンに、グループ一丸となって、持続的成長に向けた体質強化を推し進めてまいります。

■ 事業別売上高 (連結ベース)



■ 形態別売上高 (連結ベース)



薬液製造・リサイクル工場の建設

当社は、シャープ株式会社（本社：大阪市阿倍野区）が大阪府堺市に建設を予定している「21世紀型コンビナート」内に薬液の製造・供給・リサイクルを行う新工場を設立することを決定いたしました。新工場では、ケミカルマネジメント装置や当社の子会社であるナガセケムテックス株式会社が保有する薬液リサイクル技術を導入することで、現像液、剥離剤等をリサイクルします。当社グループでは、かねてより大型



21世紀型コンビナート完成予想図(全体)

液晶工場の敷地内に薬液工場を建て、薬液の供給とリサイクルを行うというオンサイトファブ（Onsite Fabrication）構想を計画して、それに必要な技術の蓄積を行ってきました。今回、長年に亘り蓄積してきたナガセグループの技術を集積し、この構想を実現することにより、物流の合理化と薬液消費量の低減を達成できると考えております。



長瀬グループのケミカルプラント完成予想図

また、当社はセイケムアジア株式会社（本社：大阪府東大阪市）、およびナガセケムテックス株式会社と半導体や液晶パネル用現像液の原料であるTMAH*のリサイクルを目的とした合弁会社「SN Tech株式会社」を設立いたしました。新会社では、セイケムアジアの親会社であるSACHEM Inc.が開発した環境保全テクノロジー、Mobius SystemTM技術と当社およびナガセケムテックスが長年培ってきた液晶パネルメーカーでの薬液管理システムの技術等を融合

し、アジアにおけるTMAHリサイクル事業を共同で推進してまいります。

※TMAH＝「テトラメチルアンモニウムヒドロキシド」の略

SN Tech 株式会社の概要

社 名：SN Tech株式会社
 設 立：2008年1月17日
 代 表 者：代表取締役社長 高岡 秀典
 資 本 金：設立時2億5千万円
 出資比率：セイケムアジア 60%、長瀬産業 35%、
 ナガセケムテックス 5%
 所 在 地：大阪府東大阪市水走五丁目6番27号

中国繊維関連事業の統合

当社とオー・ジー株式会社（本社：大阪市淀川区）は、両社が中国で行っている染料、助剤、ケミカルなど繊維加工のための副原料を販売する事業を統合するため、2007年11月1日、日本に合弁会社「オー・エヌ・コロボ株式会社」を設立しました。当社の日系企業主体の流通型ビジネスとオー・ジーのローカル企業主体のメーカー型ビジネスを合体することにより、事業全体のメリットが生まれます。新会社は両社の中国繊維関連事業の全体を統括するとともに、現

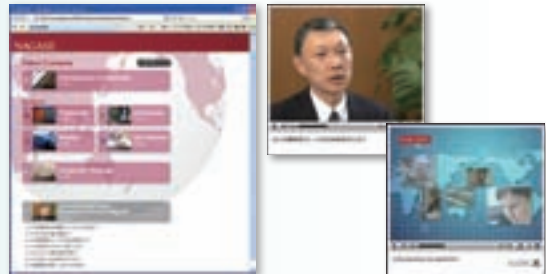
地法人などの機能を共有化することで中国繊維関連事業の拡大を図ってまいります。

オー・エヌ・コロボ株式会社の概要

社 名：オー・エヌ・コロボ株式会社
 設 立：2007年11月1日
 代 表 者：代表取締役社長 加納 達夫（オー・ジー）
 代表取締役副社長 市野 勝彦（長瀬産業）
 資 本 金：7千万円
 出資比率：オー・ジー 50%、長瀬産業50%
 所 在 地：大阪市淀川区宮原四丁目1番43号
 オー・ジー株式会社内

会社案内（動画）をホームページにアップロード

当社のホームページ内に動画による会社案内のコーナーを開設いたしました。この動画会社案内では、当社の創立から現在に至るプロフィールと各事業紹介などが視聴いただけます。また、トップメッセージとして当社代表取締役社長 長瀬 洋が語る、WIT2008の重点施策や今後の投資分野などについても紹介しています。当社グループの事業と経営姿勢の理解を深めいただくためのコンテンツとして公開していますので、ぜひ、一度ご覧ください。



視聴時間：各事業紹介等（約14分）トップメッセージ（約10分）
 U R L：<http://www.nagase.co.jp/company/aboutnagase/index.htm>

(注) 金額は、百万円未満を切捨表示しております。

■ 連結貸借対照表 (要旨)

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	平成20年3月31日現在	平成19年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	309,615	291,626
現金及び預金	23,490	21,922
受取手形及び売掛金	231,823	218,037
たな卸資産	42,946	43,372
繰延税金資産	4,620	3,055
その他	8,698	6,705
貸倒引当金	△1,964	△1,468
固定資産	110,254	131,233
有形固定資産	35,837	31,834
建物及び構築物	13,783	12,921
機械装置及び運搬具	6,895	5,937
土地	10,517	9,437
その他	4,641	3,538
無形固定資産	3,375	2,944
投資その他の資産	71,041	96,454
投資有価証券	62,546	88,065
長期貸付金	102	118
繰延税金資産	836	757
その他	7,884	7,852
貸倒引当金	△329	△338
資産合計	419,869	422,859

科 目	当 期	前 期
	平成20年3月31日現在	平成19年3月31日現在
(負債の部)		
流動負債	183,937	177,114
支払手形及び買掛金	134,864	141,461
短期借入金	24,348	14,207
未払法人税等	4,342	3,997
その他	20,381	17,447
固定負債	27,554	34,073
長期借入金	8,993	6,284
繰延税金負債	10,759	19,790
退職給付引当金	6,691	6,851
その他	1,110	1,147
負債合計	211,492	211,187
(純資産の部)		
株主資本	180,039	170,961
資本金	9,699	9,699
資本剰余金	10,017	9,926
利益剰余金	165,664	156,749
自己株式	△5,342	△5,413
評価・換算差額等	20,515	34,121
その他有価証券評価差額金	18,613	32,348
繰延ヘッジ損益	△20	0
為替換算調整勘定	1,922	1,772
新株予約権	183	123
少数株主持分	7,639	6,465
純資産合計	208,377	211,672
負債純資産合計	419,869	422,859

(注) 金額は、百万円未満を切捨表示しております。

■ 連結損益計算書 (要旨)

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで	平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで
売上高	764,755	701,321
売上原価	684,248	627,681
売上総利益	80,506	73,639
販売費及び一般管理費	57,443	51,970
営業利益	23,063	21,669
営業外収益	3,915	3,843
営業外費用	2,155	2,281
経常利益	24,823	23,231
特別利益	2,645	349
特別損失	7,204	484
税金等調整前当期純利益	20,264	23,095
法人税、住民税及び事業税	7,987	7,219
法人税等調整額	1,111	1,520
少数株主利益	1,159	788
当期純利益	10,005	13,567

■ 連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで	平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,586	10,855
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,009	△5,203
財務活動によるキャッシュ・フロー	10,738	△8,420
現金及び現金同等物に係る換算差額	△28	962
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,114	△1,806
現金及び現金同等物の期首残高	21,919	22,936
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	452	789
現金及び現金同等物の期末残高	23,486	21,919
現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係		
現金及び預金勘定	23,490	21,922
預入れ期間が3ヶ月を超える定期預金	△3	△3
現金及び現金同等物	23,486	21,919

■ 連結株主資本等変動計算書

(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

(単位:百万円)

科 目	株主資本					評価・換算差額等			新株 予約権	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定			
平成19年3月31日残高	9,699	9,926	156,749	△5,413	170,961	32,348	0	1,772	123	6,465	211,672
連結会計年度中の変動額											
剰余金の配当			△1,348		△1,348						△1,348
当期純利益			10,005		10,005						10,005
自己株式の取得				△32	△32						△32
自己株式の処分		91		103	194						194
連結子会社増加に伴う増加高			219		219						219
持分法適用会社増加に伴う増加高			45		45						45
連結子会社増加に伴う減少高			△7		△7						△7
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)						△13,735	△20	149	59	1,174	△12,371
連結会計年度中の変動額合計	—	91	8,914	70	9,077	△13,735	△20	149	59	1,174	△3,294
平成20年3月31日残高	9,699	10,017	165,664	△5,342	180,039	18,613	△20	1,922	183	7,639	208,377

(注) 金額は、百万円未満を切捨表示しております。

■ 貸借対照表 (要旨)

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	平成20年3月31日現在	平成19年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	214,911	210,634
固定資産	86,443	110,903
有形固定資産	10,628	9,673
無形固定資産	1,861	1,969
投資その他の資産	73,953	99,259
資産合計	301,354	321,537
(負債の部)		
流動負債	140,795	142,960
固定負債	22,408	28,433
負債合計	163,204	171,394
(純資産の部)		
株主資本	119,574	118,032
資本金	9,699	9,699
資本剰余金	10,017	9,926
利益剰余金	105,190	103,810
自己株式	△5,333	△5,403
評価・換算差額等	18,391	31,986
その他有価証券評価差額金	18,411	31,986
繰延ヘッジ損益	△19	0
新株予約権	183	123
純資産合計	138,149	150,142
負債純資産合計	301,354	321,537

■ 損益計算書 (要旨)

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	平成19年4月1日から平成20年3月31日まで	平成18年4月1日から平成19年3月31日まで
売上高	522,260	497,116
売上原価	488,433	465,119
売上総利益	33,827	31,996
販売費及び一般管理費	26,534	23,750
営業利益	7,292	8,246
営業外収益	6,554	6,175
営業外費用	1,552	1,548
経常利益	12,294	12,872
特別利益	2,637	276
特別損失	7,478	805
税引前当期純利益	7,453	12,344
法人税、住民税及び事業税	3,048	2,886
法人税等調整額	1,677	1,687
当期純利益	2,728	7,770

■ 株主資本等変動計算書 (平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

(単位:百万円)

科 目	株主資本								評価・換算差額等		新株 予約権	純資産 合計		
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価 差額金			繰延 ヘッジ 損益	
		資本 準備金	その他 資本剰余金	利益 準備金	特別償却 準備金	圧縮記帳 積立金	別途 積立金							繰越利益 剰余金
平成19年3月31日残高	9,699	9,634	291	2,424	17	889	89,510	10,968	△5,403	118,032	31,986	0	123	150,142
事業年度中の変動額														
特別償却準備金の取崩					△12			12		-				-
圧縮記帳積立金の取崩						△0		0		-				-
別途積立金の積立							6,000	△6,000		-				-
剰余金の配当								△1,348		△1,348				△1,348
当期純利益								2,728		2,728				2,728
自己株式の取得									△32	△32				△32
自己株式の処分			91						103	194				194
株主資本以外の項目の事業 年度中の変動額(純額)											△13,574	△20	59	△13,534
事業年度中の変動額合計	-	-	91	-	△12	△0	6,000	△4,607	70	1,542	△13,574	△20	59	△11,992
平成20年3月31日残高	9,699	9,634	383	2,424	5	888	95,510	6,361	△5,333	119,574	18,411	△19	183	138,149

■会社概要 (平成20年3月31日現在)

商号 長瀬産業株式会社 NAGASE & CO., LTD.
 創業 天保3年(1832年)6月18日
 設立 大正6年(1917年)12月9日
 資本金 9,699百万円
 従業員 920名(連結4,335名)
 主要な事業内容 化学品、合成樹脂、電子材料、化粧品、健康食品等の
 輸出・輸入及び国内販売
 主要な事業所 大阪本社、東京本社、名古屋支店、ナガセR&Dセンター(神戸)、
 ナガセアプリケーションワークショップ(尼崎)

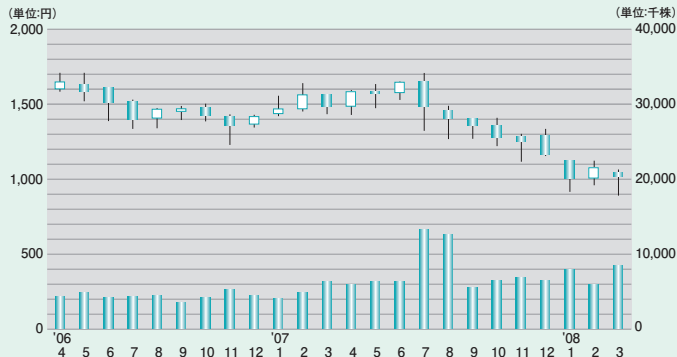
■取締役・監査役 (平成20年6月26日現在)

代表取締役会長	長瀬 英男	取締役兼執行役員	永島 一夫
代表取締役社長兼執行役員	長瀬 洋	社外取締役	新藤 春之
代表取締役兼常務執行役員	鶴岡 誠	社外取締役	藤原 俊也
代表取締役兼常務執行役員	函子 恭一	監査役(常勤)	岡部 俊輔
取締役兼常務執行役員	長瀬 玲二	監査役(常勤)	山下 秀男
取締役兼常務執行役員	浅見 栄二	監査役(常勤)	小西 哲和
取締役兼常務執行役員	馬場 信吾	監査役(非常勤)	高野 利雄

■執行役員 (平成20年6月26日現在)

常務執行役員	毛利 充邦	執行役員	松木 健一
執行役員	菅 正道	執行役員	花本 博志
執行役員	北口 治	執行役員	伊藤 富隆
執行役員	野尻 増浩	執行役員	三橋 一夫
執行役員	日高 政雄	執行役員	三瀬 隆司
執行役員	山口 俊郎	執行役員	清水 正憲
執行役員	川尻 俊一	執行役員	伊藤 光秋

■株価・出来高の推移



■株式の状況 (平成20年3月31日現在)

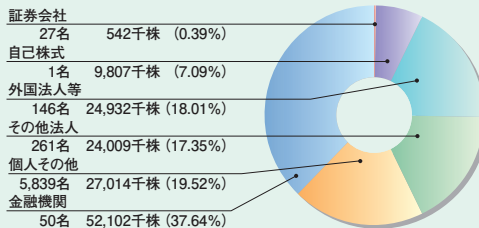
発行可能株式総数 346,980,000株
 発行済株式の総数 138,408,285株
 株主数 6,324名

■大株主

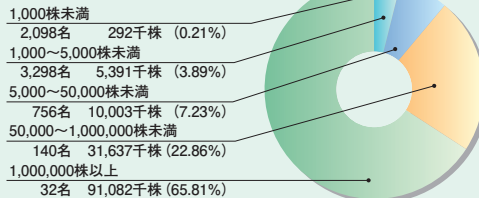
株主名	当社への 出資状況		当社の大株主への 出資状況	
	持株数 千株	出資比率 %	持株数 千株	出資比率 %
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	10,793	7.80	—	—
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	6,719	4.85	—	—
住友信託銀行株式会社	5,776	4.17	4,560	0.27
ノーザン・トラスト・カンパニー(エイブイエフシー) サブ・アカウント・アメリカン・クライアント	5,024	3.63	—	—
日本生命保険相互会社	4,610	3.33	—	—
株式会社三井住友銀行	4,377	3.16	—	—
長瀬 洋	4,192	3.03	—	—

(注)当社の自己株式9,807千株は上記の表には含めておりません。

■所有者別状況



■所有数別状況



株主メモ

単元未満株式の買増制度について

当社は、単元未満株式の買増制度を採用いたしております。この制度により、単元未満株式をご所有の場合、その単元未満株式と併せて1単元の株式数(1,000株)となる株式数について当社に買増請求することができます。詳細については、当社の株主名簿管理人であります住友信託銀行までお問合せください。証券保管振替制度をご利用の株主様は、お取引のある証券会社までお問合せください。なお、決算期(3月31日)、中間決算期(9月30日)または権利確定のために設けられる基準日の12営業日前の日から決算期、中間決算期または基準日までの間は、買増請求の受付を停止しておりますのであらかじめご了承ください。

長瀬産業株式会社

<http://www.nagase.co.jp>



事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番4号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	(住所変更等用紙のご請求) ☎0120-175-417 (その他のご照会) ☎0120-176-417
ホームページURL	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html
同取次所 公告方法	住友信託銀行株式会社 本店および全国各支店 電子公告の方法により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
公告掲載URL	http://www.nagase.co.jp
単元株式数	1,000株
株主に対する特典	毎年3月31日現在の株主名簿および実質株主名簿に記載または記録された1単元(1,000株)以上保有の株主を対象に、自社もしくはグループ会社の商品を贈呈。
上場取引所	東京・大阪証券取引所 市場第一部